

121227 冬の田んぼ

冬の田んぼを眺めてみると…

稲穂を刈り取った後の「株」も茶色く枯れて、物寂しげな雰囲気は漂っていました…

でも、雨水の溜まったあたりを見ると…

稲刈りの際にコンバインから排出された「稲わら」が、**きれいな模様**をつくっていました！

水溜りに浮かぶ稲わらが、風による「さざ波」に流されて形作られたのでしょうか。

【別添の写真をご覧ください。】

さて、夏の田んぼやその周辺には、いろいろな生きものたちの姿がありました。

トンボやカエル、小魚やアメリカザリガニ、…

みんなどこに行ってしまったのでしょうか？

水がなくなってしまったので、死に絶えてしまったのでしょうか？

いいえ、いなくなってしまったわけではありません。

春になって水が張られると、また元気な姿を見せてくれるはずです。

では、寒い冬の間、彼らはいったいどこで過ごしているのでしょうか？

生きものの種類によって「**越冬**」のスタイルは異なりますが、大きく分けると次の3つのタイプがあります。

- ① **土や泥の中に潜る** 《カエル、アメリカザリガニ など》
- ② **卵で越冬する** 《アカトンボの仲間 など》
- ③ **水のある場所（水路など）に移動する** 《ドジョウ、メダカ など》

そのほかに、稲の刈り取り後の「株」の間や土の表面、畔の草むらの中にも、冬を乗り切ろうと頑張っている生きものがあるかも知れませんが、機会があれば探してみたいですね。

（ただし、田んぼに入る時は、所有者の方に了解を得ておく必要があります。）



